

公立西知多総合病院

病院長名	吉原 基
所在地	〒477-8522 愛知県東海市中ノ池三丁目1番地の1
交通案内	名鉄河和線「加木屋中ノ池駅」下車、徒歩3分 (2023年度末開業予定) 伊勢湾岸自動車道東海ICより車で12分、 名古屋高速東海新宝ICより車で12分、 知多半島道路大府東海ICより車で5分

★ 病院の特徴

当院は、知多半島医療圏の北西部地域の中核病院として2015年に開院し、診療科32科と病床数468床を有する2次救急病院であり、プライマリケアから高度な専門治療まで幅広い診療を行っています。

特に救急医療に重点を置いており、救急診療センターでは常勤の救急専門医が対応しており、救急車の受け入れも年間約5,000台あり、救急医療の充実に努めています。重症患者に対しては、麻酔科医が担当するICUで高度な全身管理を行い、良好な成果を挙げています。この他にも診療科間の医師の連携も良好で、協力して診療を行っています。

また、知多半島で唯一の緩和ケア病棟の設置や2019年度から稼働している放射線治療センターによりがん診療の幅を広げており、がん拠点病院の取得を目指して、さらに診療体制の充実を図っております。

この地域で完結する医療提供体制を構築するために、最新の高度な医療機器による正確な診断と適切な治療を提供しています。

★ 研修の特徴

当院の研修プログラムでは、基本的なスキルを習得して医師としてのスタイルとプロフェッショナリズムの確立を目指します。研修医は、救急医療の最前線でファーストタッチを行い、軽症からCPAの患者まで幅広い診療に携わります。また、救急以外の研修では内科、外科、小児科、麻酔科など幅広いスーパーローテーション研修を行い、将来の志望科に関わらず、ジェネラルに患者を診ることができる医師を目指します。

専門医制度にもほとんどの診療科で対応しており、3年目以降も専攻医として研修が可能となっています。

また、臨床能力だけでなく研究のためのスキルを磨くように指導します。院内研究会、学会発表に積極的に参加してプレゼンテーションしてもらいます。そのために文献を読み、自分で考えて発表をしていただきます。



メッセージ

指導医（プログラム責任者 加藤 二郎）

当院は2015年開院と比較的新しく、400床程度とやや小ぶりですが、救急外来では質、量ともに充実した症例を経験でき、秋頃には1年目の研修医も例年全員が見違えるほどの成長に驚かされています。



各科の垣根も低く和気藹々とした雰囲気や初期研修終了後にどの科を専攻してもハイレベルな後期研修が可能です。まずは、当院の雰囲気を感じるため見学にお越しください。

研修医（2年次研修医 赤塚理世、伊藤紘樹、鷺津里菜子、佐野 匠、 吉川雅通、榎 千遥、小出優奈）

当院の臨床研修の特徴として、全ての救急外来患者さんのファーストタッチを行えるという点があります。一般的な症例から、珍しい症例まで幅広い症例に触れることができるため、研修医に必要な知識、技術を学ぶことができます。

また、臨床研修プログラムの選択科の期間が長く、将来の志望科が未定の人はいろいろな診療科で研修することができますし、決まっている人は1つの診療科を重点的に長く研修することも可能です。きれいな病院、新しい設備の中で研修ができるのはとても良い経験となると思います。

医学生の皆様、東海市と知多市が一丸となって設立する当院で、地元の人に愛される、地域に密着した病院と一緒に作り上げていきましょう。研修医一同いつでも皆様の見学をお待ちしています。

募集要項

採用実績	2022年度 7人 ・ 2023年度 7人		
給与／月額	1年次 317,200円 ・ 2年次 331,300円 (※手当含まず)		
当直回数／月	4回程度		
その他	学会等補助有 (10万円/年) 住居手当有 (自己負担2万円/月)		
応募連絡先	担当者	管理課人事管理室 天野	
	電話番号	0562-33-5500	
	Eメール	jinji@nishichita-hp.aichi.jp	